
■ 株式投資初心者でも儲かる新興国(中国株・ベトナム株)必勝法 ■

= 中国株でお金儲ける実践会 = 第58号

【第58号】中国株有料メルマガです。

前回の有料メルマガでピーター・リンチの話をしました。彼の投資法は、プロが買う株や市場の噂に惑わされず、アマチュアの優位性を遺憾なく発揮した投資法になります。その投資基準が下記の12項目に該当します。

1) 面白みのない、または馬鹿げている社名

アナリスト、ファンドマネージャーが買おうとしないので割安で放置されやすい。

2) 変わり映えのしない業容

アナリスト、ファンドマネージャーが注目することなく、割安で放置される確率が高い。

3) 分離独立した会社

大企業は独立させた部門が失敗すると評判に傷がつくことを恐れるため、通常は良好な財務内容を持ち、独立するに十分な備えを持っている。そして、独立後、収益改善策を打ち、大幅な収益をあげることがある。

4) 感心しない業種

産業廃棄物処理業など、アナリストが見向きもしない業種

5) 機関投資家が保有せず、アナリストがフォローしない会社

機関投資家が保有しない穴株

6) 悪い噂の出ている会社

産業物処理産業のようなマフィアとつながっている噂のある会社。

7) 気の滅入る会社

葬儀屋、有害廃棄物など機関投資家などが敬遠したがる銘柄。

8) 無成長産業であること

無成長産業で株価が割安になり、新規参入会社も少なく競争の心配がない産業銘柄は大

化け株が出てくることもある。

9) 買い続けなければならない商品

安定した売上が見込める。例: 医薬品、ソフトドリンク、タバコ、剃刀など

10) テクノロジーを使う側であること

経営効率化することによるコスト削減した分、収益が改善される。

11) インサイダーたちが買う株

その会社の人間が自社株を買っているのは、その会社が上手く行っていることの動かぬ証拠である。

12) 自社株買戻し

自社株買いは、株主に報いる最も簡単で最良の方法です。市場の浮動株が減少するし、発行株数も減りPERは好転する。

12項目の中、中国株投資に当てはまらない項目もありますが、基本に戻ると、株価を上昇させる大きな要因は、企業の『**収益**』が非常に大切なポイントになります。世界同時株安、SARS、イラク戦争などの暴落時も冷静な状態でいたことは、一時的に株価が下落しても、毎年増収増益の企業の株価は上昇するということを信じる事が出来たからです。

8月17日の世界同時株安前にお勧めした銘柄の**大唐国際発電(0991)**、**交通銀行(3328)**、**シノリンク(1168)**、**ハルビンパワー(1133)**でした。大唐国際発電(0991)のAH株価差狙いの作戦は、短期間で**35%－65%**の利益を得ることが出来たはずでした。次のハルビンパワー(1133)は、世界同時株安前に推奨し、香港H株相場が下落する中、ハルビンパワーの株価は下落しませんでした。相場が回復し、ハルビンパワーの株価は推奨時株価の**+5.2%**の利益を得ることが出来たはずでした。シノリンクも**40%**の利回りを出しています。

今は、投資資金があっても「待ち」の姿勢が良いと思いますが、今から投資する場合、出遅れ銘柄の交通銀行を購入することがいいと思います。ただ、私ならもう少しチャンスを待ちます。仮に、再びサブプライムローン問題により香港H株市場全体相場が下落したときに購入します。洋服でも定価で購入するよりかバーゲンで安く購入したほうがいいことと同じことです。

続いて2006年10月23日に推奨した中国アルミ(2600) 5.41香港ドルでしたが、18.94香港ドルと**3.5倍**の運用利回りを出すことが出来ています。2月の28日の世界同時株安

時には、7.25香港ドルで2回目の推奨を出しました。この時期に購入しても**2.6倍**の高い運用利回りを出しています。上海振華港口機械(900947)**2.6倍**、中国交通建設(1800)**2.8倍**の運用利回りを出しています。一旦、これらの銘柄を利益確定で売却することも1つの方法ですが、私は、以前からお話しているように中国株相場のスーパーバブル時代が来るまで中国株に投資続けることが1番おいしいと信じています。

大唐国際発電は、AH株価差狙いで推奨したため、もう少し株価が上昇したところで利食い売りしてもいいと思います。株式投資の基本は、「割安+成長性」です。現在の保有銘柄の成長性が鈍化すれば銘柄変更を指示する場合と、非常に有望な銘柄を発見すれば、銘柄変更指示を出す予定です。1番困ることは、感情で売買することです。暴落からの恐怖心で売却すること、中国株相場が上昇し、高値掴みをするのは止めて下さい。中国株投資で利益を出すことが出来ないパターンに陥ります。株式投資は、自分の精神力を鍛える場所です。絶えず色々な情報が入り、売買の衝動に駆られます。

このような精神状態のときは、少し深呼吸をして何が株式投資で儲かるのかを自分自身に問い質して下さい。株式投資では、「割安+成長性」銘柄を購入した場合、株価も利益に比例して上昇します。多少、時間差はありますが、増収増益銘柄の株価は上昇するということです。

●**靈宝黄金(3330)**は7日、2007年6月中間決算が市場の事前予想を大きく下回り、大幅減益になるとの見通しを発表した。原材料である金や銅の価格上昇で粗利益率が大きく落ち込んだほか、採鉱事業の買収および拡大に伴う借入金の増加で財務コストが膨らんだためと説明した。詳細は13日に発表予定の決算報告書で明らかにするとしている。靈宝黄金の株価・出来高が7日に大幅上昇した原因は不明との見解も示した。

靈宝黄金(3330)の2007年6月中間決算:

売上高:10億1300万元(前年同期比6.4%増)
純利益: 3800万元(前年同期比71.3%減)
EPS:0.05元(前年同期は0.18元)
中間配当:なし(前年同期もなし)

靈宝黄金の株価の伸びが2社より株価が伸びないのは、2007年度版中国株必勝法8番勝負でも書きましたが、招金磁業、紫金磁業集団2社と違い、金鉱山を保有し、採掘しているのではなく、金を仕入れ、精製している企業だから、金価格が上昇すれば、収益性が悪化する体質を持っているからです。だから、お勧め出来ない銘柄なのです。

●中国交通建設(1800)の2007年6月中間決算:

売上高:586億7400万元(前年同期比24.3%増)

純利益:27億4400万元(前年同期比**153.1%増**)

EPS:0.19元(前年同期は0.10元)

中間配当:なし(前年同期もなし)

中国交通建設は、2006年12月15日上場日にお勧めした銘柄です。中国の大手ゼネコン会社で、大きな案件は中国交通建設に受注が入る仕組みになっていることが予想される会社で、実際、多くの大きなプロジェクトを受注しております。そして、純利益が大きく伸びた理由は、上場前の企業体質が悪かったことでした。2006年以降、社内のリストラを実施し、経費に関しても大きな見直しをしたことが今回の売上の伸びより大きく純利益が伸びた理由だと考えられます。今後も保有し続けていく銘柄です。

銘柄	コード	推奨日	推奨日株価	9/14 株価	増減率
【上海B株】		2006年			
上海振華港口機械	900947	10月23日	0.93	2.472	165.81%
【香港H株】		2006年			
中国アルミ(1回目)	2600	10月23日	5.41	18.94	250.09%
中国アルミ(2回目)	2600	2月28日	7.25	18.94	161.24%
ハルビンパワー	1133	10月23日	6.65	20.20	203.76%
チャイナレアアース	769	10月23日	1.5	2.29	52.67%
招金鋳業	1818	12月8日	15.98	18.92	18.40%
中国交通建設	1800	12月15日	6.33	17.82	181.52%
		2007年			
ハルビンパワー	1133	8月13日	13.24	20.20	52.57%
大唐国際発電	991	7月3日	6.27	8.17	30.30%
交通銀行	3328	7月3日	8.49	8.94	5.30%
シノリンク	1168	7月3日	1.89	2.65	40.21%

オリエンタルウェイブ株式会社 投資顧問業

関東財務局長 第1737号

発行責任者: 三木健博

発行者サイト <http://www.chinakabu.com>

メールアドレス info@chinakabu.net

【ご注意点】

今回の有料会員情報の内容は、私が考えている中国株投資の推奨銘柄、売買タイミング、投資経験など、有益な情報を配信していく内容になります。本ホームページ及びメルマガに掲載されている内容等は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。したがって、勧誘の目的としたものではありません。投資に関する最終判断は、お客様御自身の責任でお願い申し上げます。メルマガ及びホームページ情報を使用し発生したいかなる損害(被害)及び民事、刑事的問題については、当社は一切の責任を免れます。
